

日刊 動労千葉

84. 7. 30

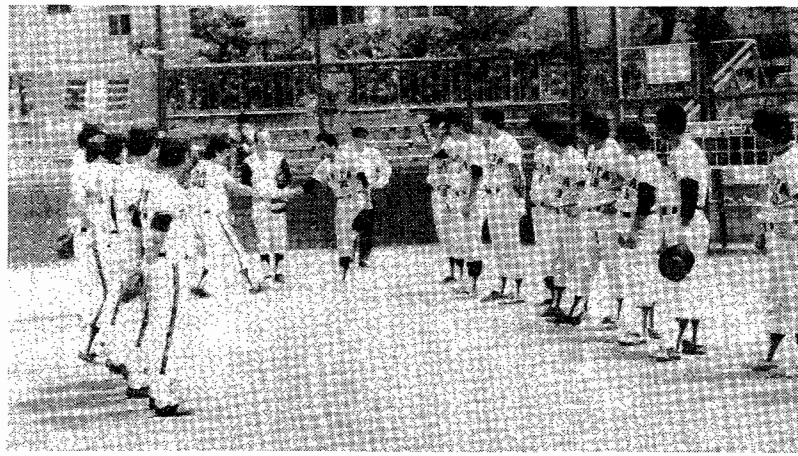
No. 1703

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五～六（公衆）〇四七二二二七二〇七

全通空港支部と 交流野球試合

動労千葉を代表して成田支部チームが遠征



戦い終って両軍キヤアテンし、かりと団結の握手。(右=成田支部、左=空港支部)

七月二四日、動労千葉成田支部は全通東京空港支部と交流野球大会を開催し、連帯して三里塚闘争を闘ってきた労働者同士の親睦を深めました。

動労千葉代表の成田支部が勝つ

今回の交流野球試合は、全通東京空港支部からの申し入れを受け、動労千葉サークル協は成田支部の参加を決定し初めての試みとして行われました。二四日、十三時、東京・太田区の萩中グラウンドに両チームが勢ぞろいしてプレーボールとなり白熱したプレーが展開されました。

試合経過は、三回に成田支部の猛打がさく烈、林、境、小倉、伊藤の連続長短打で3点を先取、さらに5回にも1点を加え、投げては神崎投手の好投により5回まで全通打線を封じ無得点に押さえました。

一方、全通は六回裏、神崎投手の疲れに乗じて反撃に転じ、代わった境投手を攻め3点を奪い返したが、惜しくも時間切れで成田支部の勝利となりました。

成田支部	0	0	3	0	1	0		4
全通空港	0	0	0	0	0	3		3

交流会で闘う者同士の連帯を深める

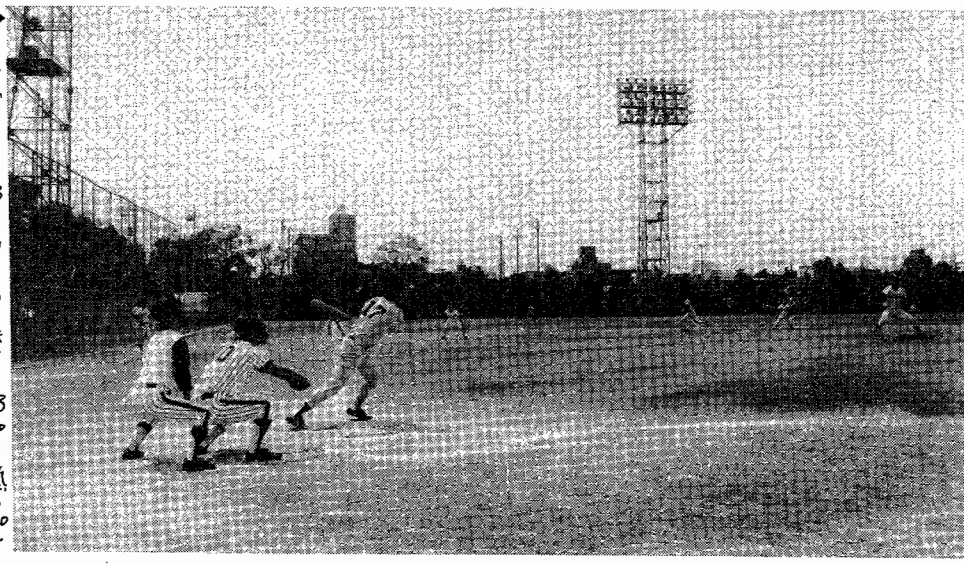
試合終了後、グラウンド横の芝生に腰をおろし、全通空港支部から差し入れられたビール、ジュース等でノドをうるおし、お互いの健闘をたたえあいました。

会場を移して十八時より交流会が開催され、勤務を終えた全通空港支部の多くの仲間がかけつける中、空港支部書記長の司会のもとで始められました。

最初に空港支部支部長は「空港支部は動労千葉に追いつけ追いこせをスローガンに運動をすすめています。本日の野球大会を契機にさらなる連帯を強めていきたいと思えます」とあいさつされ、

成田支部の支部長は、今回の交流試合招待の御礼を述べるとともに、今日の敵しい情勢の中において共に闘っていく決意を明らかにしました。空港支部副支部長の音頭で乾杯し、全員の自己紹介を行い、なごやかな歓談のひとときを過ぎました。二部ではカラオケ大会が行われ、双方自慢のノドを披露しました。

最後に、副支部長の団結ガンバローをもって大成功のうちに交流野球試合を終了しました。



攻=成田支部、守=空港支部。白熱のプレー。炎天下の試合終了後、木陰の芝生でしばし歓談とノド湿し。

